2019年9月某日			
差枚	+約1000枚	RANK	A

実戦機種

クレアの秘宝伝　女神の夢と魔法の遺跡　ほか

実戦レポート

前回、政宗2の設定6で何もできなかった事が、逆に前向きになれる材料となった部分もある。爆裂スペックで勝てないなら、ノーマルタイプや6号機を打ったっていいじゃないか。むしろそっちの方が、高設定なら安定してプラスになるんじゃないか？　…ってね。

そんなこんなで、気を取り直して今回の店舗は、朝の抽選からかなりの人数が並ぶ人気店。「一桁番号を引いて新台のSLOTまどか新編に行く！」という願いは叶わず「57番」。またも1台目から悩むスタートとなった。人が多いということは、全台系や末尾狙いのアタリを察知する精度と早さが求められるからなぁ。

しかし、そういえばここはバラエティもいつも強いんだった。その割に埋まるのは遅めなので、とりあえず朝イチのご機嫌だけ窺ってみるか～と、剛衛門→麻雀格闘倶楽部2と渡り歩き、どちらもあまり反応が良くなかったので、腰を落ち着けたのは「クレアの秘宝伝 女神の夢と魔法の遺跡」。バラエティシマのカド台となかなか目立つ位置にあり、4段階設定なので上か下かはある程度絞りやすく、かつ高設定域のスペックがそこまで高くないので、店側としても使いやすいだろうってね。ま、そんなもっともらしいこと言っているが、またこれ初打ちなんですけどね。最近、初打ち機種にチャレンジすることが多いな。守備範囲が広がるのは良い事だ。

さて、このクレアの設定推測はというと、通常時は小役を数えつつ、特定小役からのボーナスに注目。あとはREG中のカードの種類とRT終了画面も含めて、総合的に判断って感じか。幸いなことに、少ない投資でボーナスが繋がってくれて、しばらく追加投資の心配は無さそうだが、設定の方は「良さそうではあるけど、確定要素など決め手には欠ける」という状況のまま、予断を許さぬ展開が続く。

でも、最近の台って上手く作られているから、どの台もこんな感じになるよね。よく視聴者のコメントとかで、「〇〇はどこに注目して設定推測しますか？」みたいなやつがありますけど、全部です。設定差があるところは全部参考にする。一昔前は、小役確率だけ見てりゃいいとか、ボーナス当選時の確定画面だけ見てりゃいいとか、そういう機種もありましたけど、今はそんな簡単に作られていないから。その分、「設定〇以上確定」的な要素は出やすくなっていたりしますけど、それも機種によるかなぁ。…そんな事を言っている間に時は過ぎ、結局「高設定っぽいなぁ～」という感触のまま、出玉も1500枚ほどを確保して終了。まぁ、A級っすかね。